

①**4次元の林檎：柔らかい数学の柔らかい空間** ②大上丈彦著 ③荒地出版社  
 ④高校数学を題材に、独特の口語体で、数学を「普通とは全然別系統の教え方で」語る。数学の好き嫌いにかかわらず、引き込まれること請け合い。学問一般に対するスタンスとしても参考になる。“三部作”の他の著書「数学のできる人できない人」「むずかしい微分積分」もオススメ。 ⑤山崎洋一先生

①**ポアンカレ予想を解いた数学者** ②Donal O'Shea著 糸川洋訳 ③日経BP社  
 ④地球の形が理解されてきたプロセスも書かれているこの本には、ユークリッド幾何学から、非ユークリッド幾何学、位相幾何学、微分幾何学へと発展した数学の歴史が分かりやすく語られ、「なぜ」という疑問から発した好奇心が、学問することの面白さであることに気づかせてくれます。 ⑤小林祥一先生

①**薬の話** ②山崎幹夫著 ③中央公論社  
 ④ペニシリン、モルヒネなど多数の身近な薬品開発のドラマと、効能や副作用のメカニズムを多彩なエピソードを混じえて語っている。文学の話なども出てくるが、化学構造がきちんと示されている。同著者の「毒の話」も併せて読むと化学物質と生命の関わりを楽しく勉強できるだろう。 ⑤大平進先生

①**私たちの生化学** ②井本稔著 ③東海大学出版会  
 ④高分子化学を専門としてきた著者が「生化学の中心の道筋だけを書いたような素人むけの本があればいいな」という思いから書き下したものである。基礎的ではあるが非常に広範で学術的な内容を含むので、読破するというより、興味あるところを拾い読みするとよいだろう。 ⑤大平進先生

①**メディア・バイアス：あやしい健康情報とニセ科学** ②松永和紀著 ③光文社  
 ④世の中に氾濫する食品情報、健康情報。「○○は危険!」「△△が効いた!」などなど。でも、それって本当に正しい情報なの?この本を読めば、食品情報、健康情報の真贋の見きわめ方とその報道の裏側がわかります。食と健康を学ぼうとする学生にお勧めの1冊です。 ⑤関明彦先生

①**健康...夢人生：暮らしと健康のエッセイ集**  
 ③(社)日本衛生検査所協会 星雲社(発売)  
 ④俳優、お天気キャスター、医師、管理栄養士、大学教授など多彩な執筆者が暮らしの中の健康をテーマにつづったエッセイ集で、健康の科学を学ぶ臨床生命科学科の学生にとって興味のある内容が含まれている。 ⑤篠田純男先生

①**コルバート脊椎動物の進化 (第5版)**  
 ②エドウィン H. コルバート、マイケル モラレス、イーライ C. ミンコフ著 田隅本生訳  
 ③築地書館  
 ④この本は古脊椎動物学の教科書である。古脊椎動物学とは、背骨のある動物の化石を対象とした学問であり、日本語で記された教科書はきわめて少ない。この本は、入門書としては難解であるが、古脊椎動物学に興味のある学生にとっては必読書の1つであろう。 ⑤名取真人先生

①**脊椎動物のからだ：その比較解剖学**  
 ②A. S. ローマー、T. S. パーソンズ著 平光厲司訳 ③法政大学出版  
 ④背骨のある動物の進化を研究するには、その動物のからだの構造を知らなければならない。そして、この分野のことを比較解剖学という。「脊椎動物のからだ」は、比較解剖学で最も有名な教科書である。この分野に興味のある学生は是非でも読んで欲しい。 ⑤名取真人先生